

2024年度決算の概要

(2024年4月1日～2025年3月31日)

2025年5月20日

山陽特殊製鋼株式会社

<https://www.sanyo-steel.co.jp/>



「さんとかん」
(当社キャラクター)

目次

1. 2024FY決算の概況

2024FY損益の概要

事業環境、欧州事業環境

業績推移

経常利益の変化要因(2023FY→2024FY)

OVAKOの状況、SSMIの状況

2. トピックス

3. 2050年カーボンニュートラル(CN)実現に向けた取り組み

4. 参考資料

主要市場動向、業績推移(年度)

1. 2024FY決算の概況

2024FY損益の概要 (対2023FY)

連結経常利益91億円(前期比-30億円)

当社単独は前期比増益のもの、欧州景況悪化によるOVAKO減益等により、減収減益
当社単独は、売上数量の減少があったものの、外注・物流面を含む労務費の上昇も踏まえた販売価格の改定や鉄スクラップ価格の下落によるマージン改善により前期比増益。一方、OVAKOは欧州における急激な景況悪化の影響を受け前期比減益、グループ全体としても前期比減益となった。

(単位：億円、%)

	2024FY (A)		2023FY (B)		増減 (A) - (B)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	増減率
売上高	3,295	100.0	3,538	100.0	-243	-6.9
経常利益	91	ROS 2.8	121	ROS 3.4	-30	-24.7
内、当社単独	123	7.5	90	5.0	+33	+37.0
内、OVAKO	33	2.5	84	5.9	-51	-60.4
内、SSMI	8	3.5	7	2.9	+2	+22.8
内、のれん償却費	▲34	-	▲32	-	-1	-
税後利益 (注1)	43	1.3	91	2.6	-47	-52.2
のれん償却費を除く税後利益	77	2.3	123	3.5	-46	-37.3
売上数量 (千t)	1,349	112.4 /月	1,429	119.1 /月	-80	-6.7 /月
内、当社単独	743	61.9 /月	806	67.2 /月	-63	-5.2 /月
内、OVAKO	494	41.1 /月	508	42.3 /月	-14	-1.2 /月
内、SSMI	112	9.3 /月	115	9.6 /月	-3	-0.3 /月

(注1)親会社株主に帰属する当期純利益 (注2)SSMI：1月～12月の数値

事業環境

需要動向

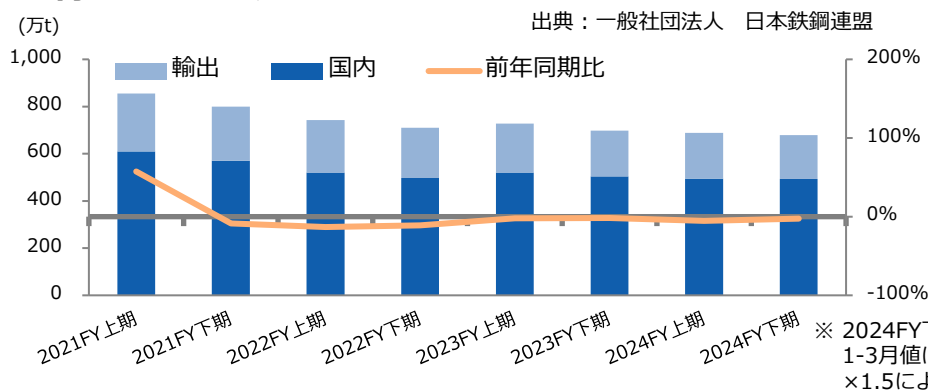
日本：需要は極めて緩やかに回復。回復基調の継続が期待される一方で、米国通商政策が需要業界に与える影響は不透明。

欧州：金利の高止まりや中国経済の回復の遅れなどにより、需要が停滞。今後想定されるドイツを中心とした財政施策の積極化による需要回復を期待。ただし、米国通商政策による影響は不透明。

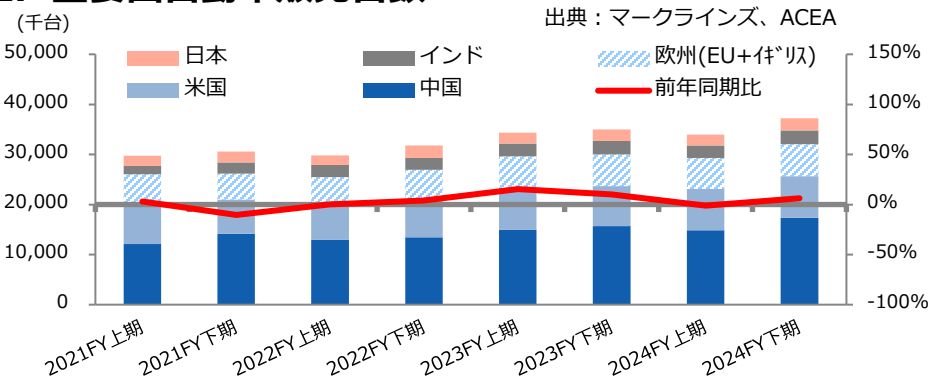
原燃料価格

2024FYの原料価格は概ね低下傾向も、エネルギー価格は依然として高位で推移。物流費等のインフレも継続。

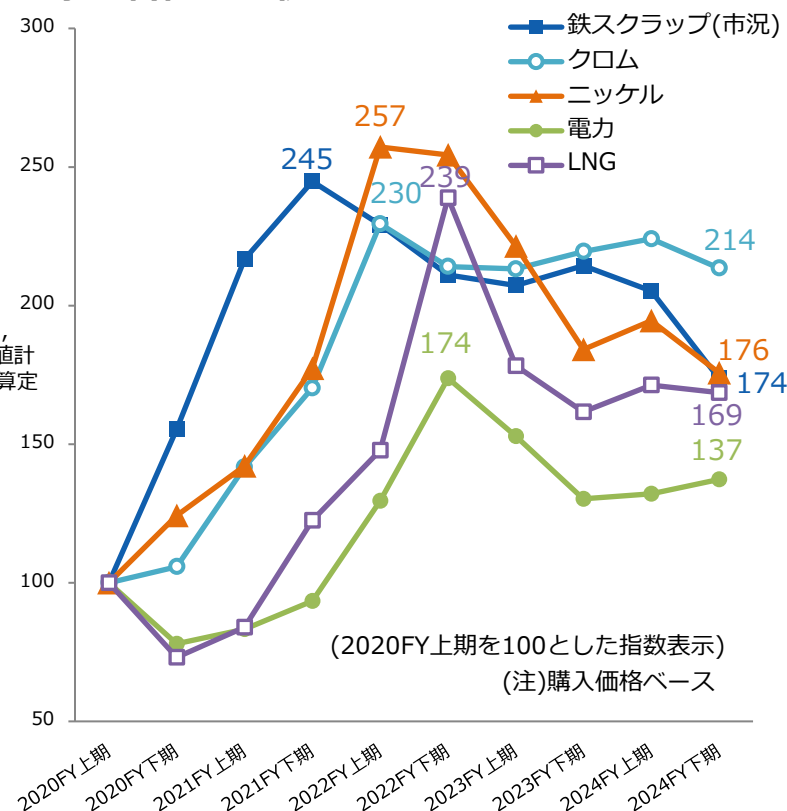
1. 特殊鋼受注数量



2. 主要国自動車販売台数



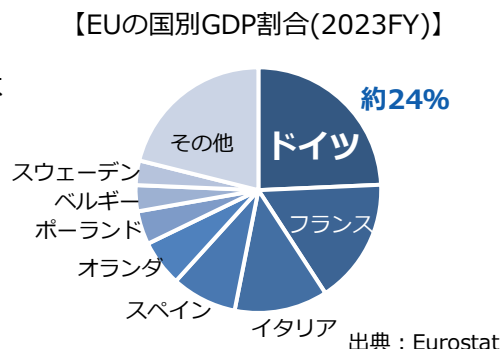
3. 原燃料価格推移



欧州事業環境

EU経済に占めるドイツのポジション

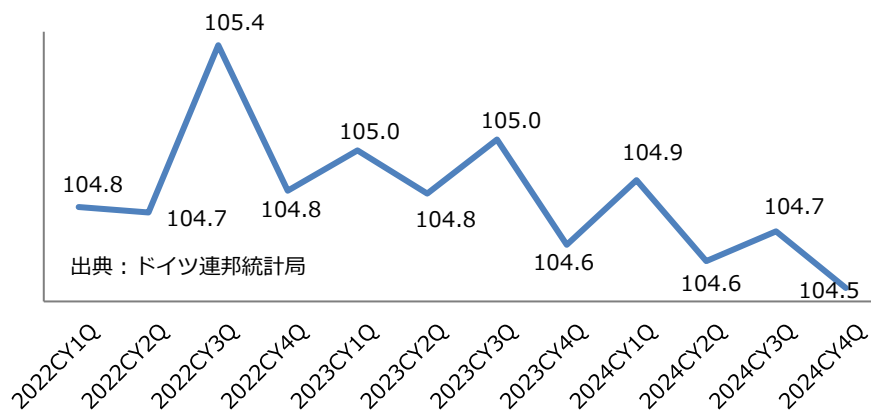
ドイツはEU最大の経済国で、同国のGDPはEU全体の20%以上を占める。



ドイツGDP推移

2024年のGDPは前年比0.2%減となり、2年連続の縮小となった。10-12月のGDPは前期比0.2%減。

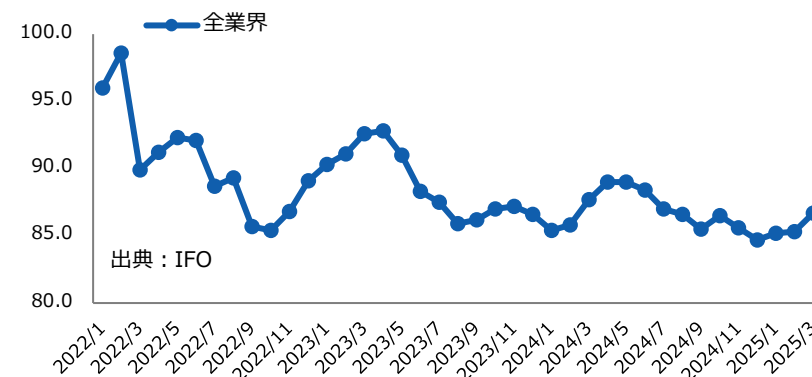
【ドイツGDP指数(2020CY=100)】



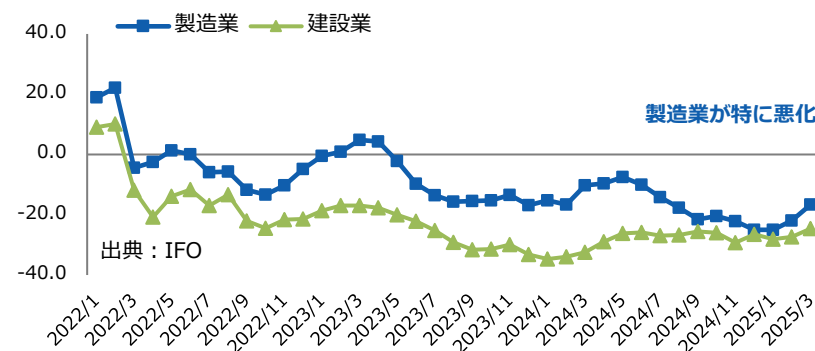
ドイツ企業景況感

新政権による財政刺激策への期待感などから、ドイツ企業景況感指数は改善傾向にあったものの、足元では米国通商政策による影響への懸念から不透明感が広がっている。

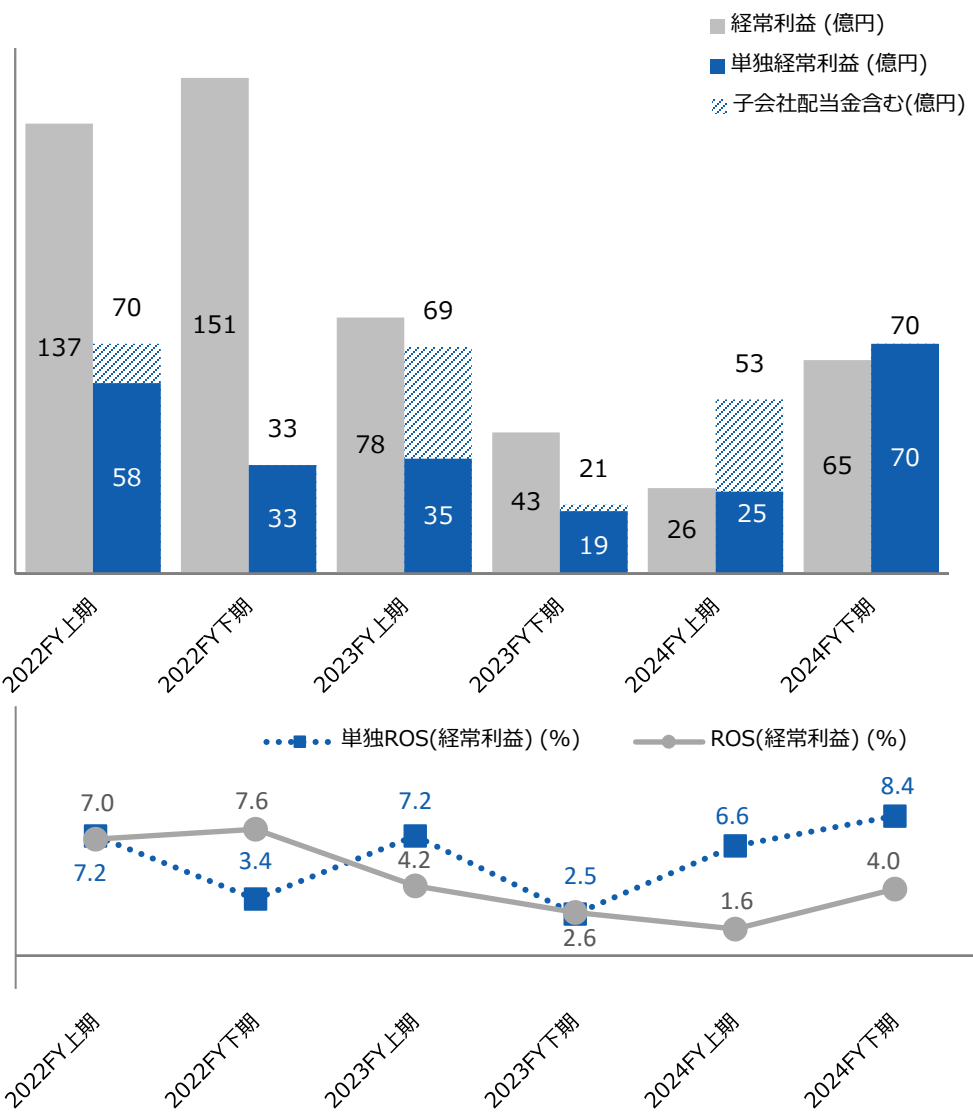
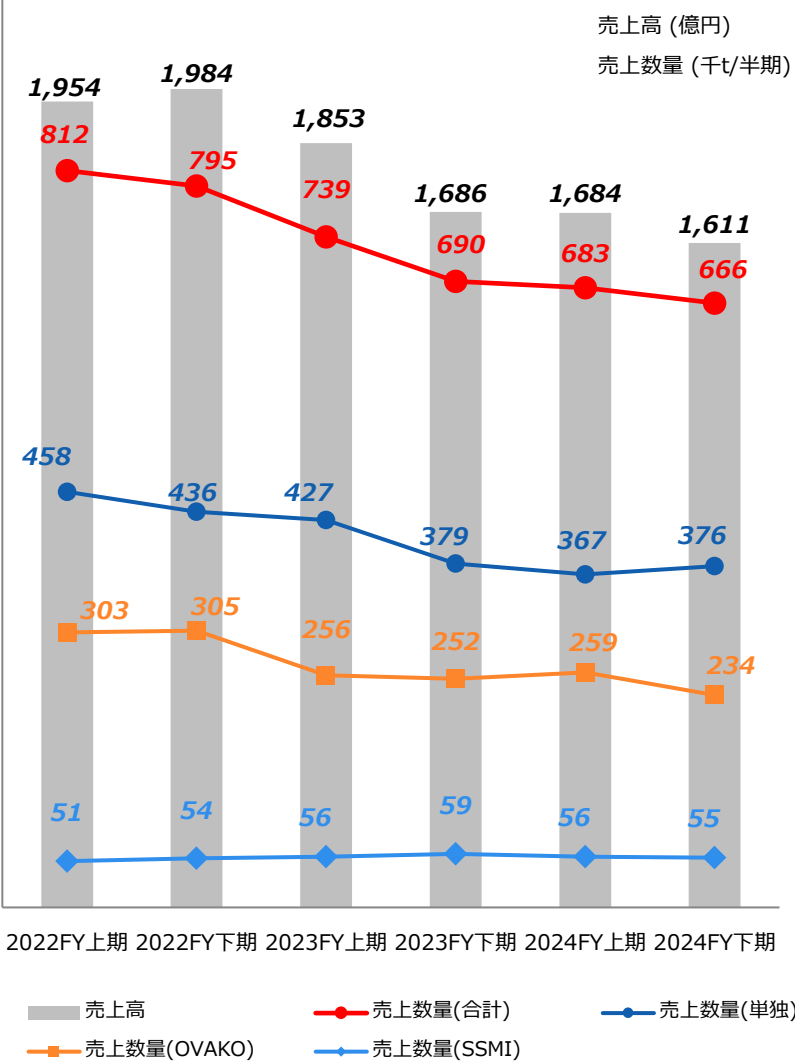
【ドイツ企業景況感指数(2015CY=100)】(全産業)



【ドイツ企業景況感(バランス)】(製造業・建設業)

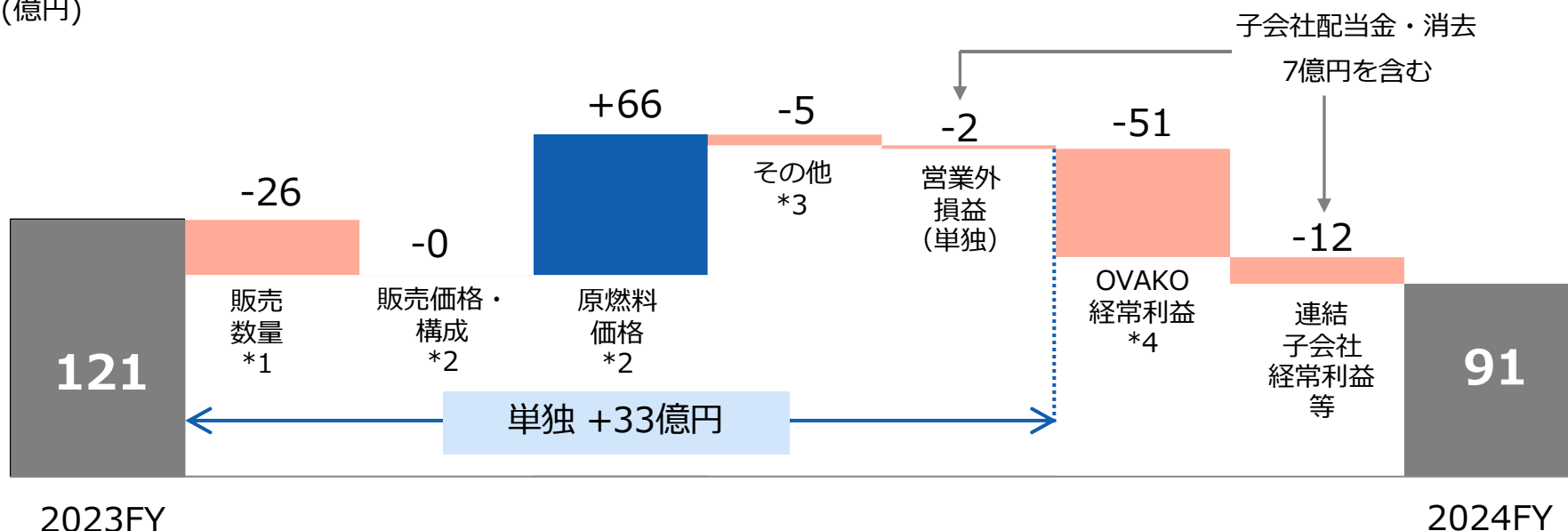


業績推移



経常利益の変化要因 (2023FY→2024FY)

(億円)



山陽	90
OVAKO	84
その他	-53

連結 -30億円

山陽	123
OVAKO	33
その他	-65

*1 販売数量

- ・ 8%減 (-63千t : 806千t→743千t)

*2 サーチャージタイムラグ

- ・ 鉄スクラップ+15 (×3→○12)
- ・ エネルギー-19 (○17→×2)

*3 その他内訳

- ・ 変動費コストダウン+6、修繕費+4、諸資材・外注・物流費等-14、固定費-1

*4 OVAKO経常利益

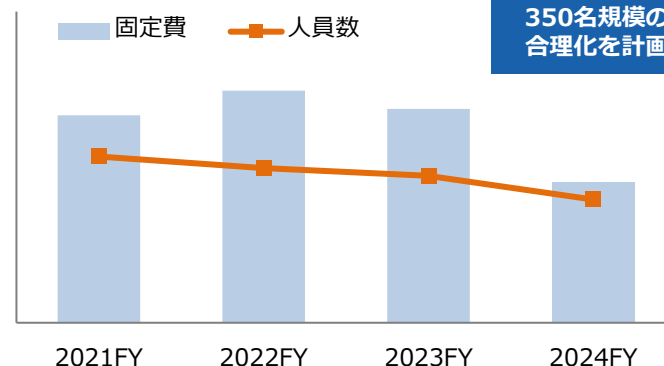
- ・ 販売数量 3%減 (-14千t : 508千t→494千t) -17
- ・ 一過性要因 -15 (+13→-2)
 - うち、為替影響 -9 (+4→ -5)
 - エネルギー補助金 -6 (+6→ 0)
 - その他 0 (+3→ +3)
- ・ 販売・原燃料価格、構成 -59
- ・ その他(固定費等) +40

OVAKOの状況

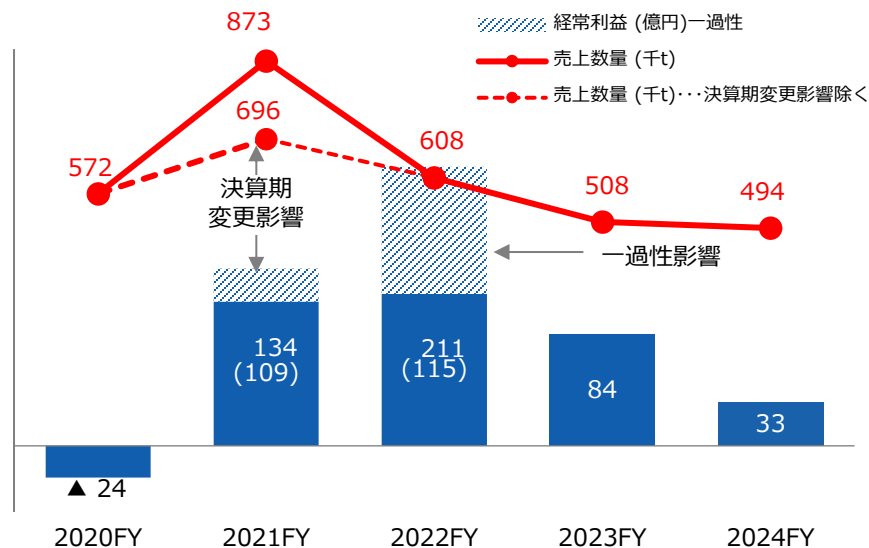
2024FY業績

- ・欧州の景気回復が進んでいないことや、安価な輸入材の流入、欧州外への生産拠点移転の影響により需要低迷が継続。中級品の拡販を実行したが、2024FY3Qにドイツ経済悪化懸念を受けた在庫調整の動き拡大もあり、販売数量が伸びなかった。販売数量の構造的変化に対応するため、徹底的な人員合理化を含むコスト削減等に取り組み、**経常利益33億円(前期比-51億円)**を確保。

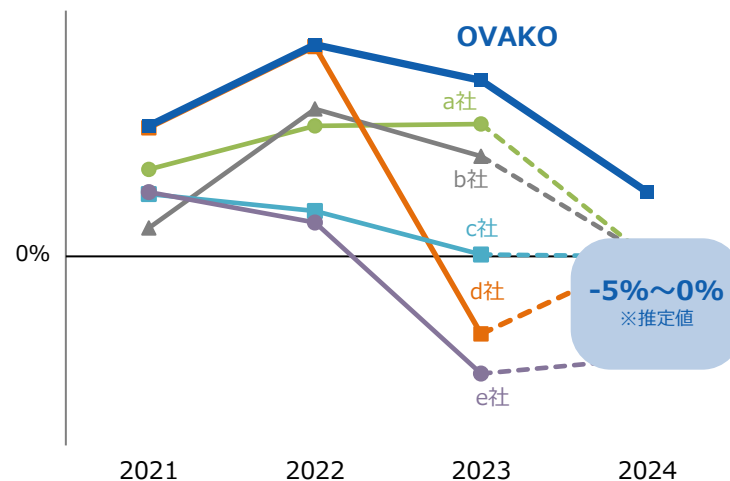
OVAKO 固定費、人員数推移



売上数量、経常利益推移



欧州同業他社比較(EBIT%)

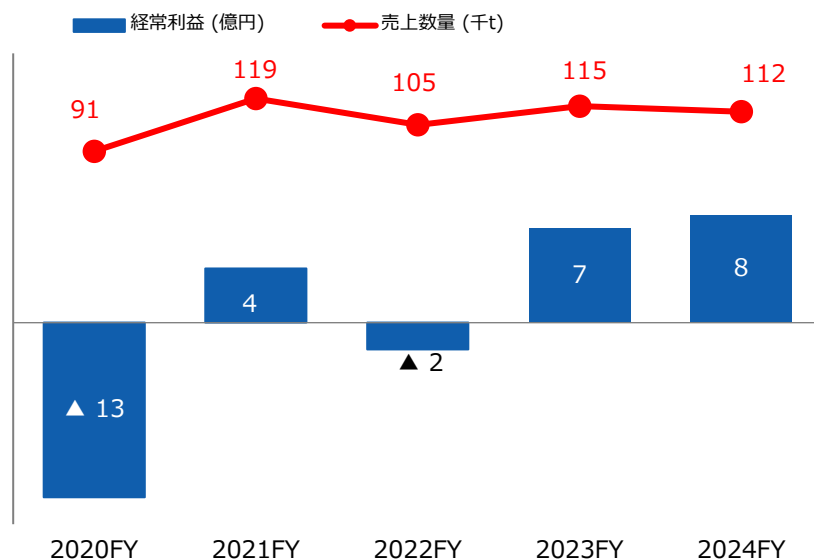


SSMIの状況

2024FY(1-12月期)業績

- ・ 販価・販売構成の改善や、競争力のある鉄源・エネルギーの活用および生産計画の最適化などによるコスト改善施策を実行し、**経常利益8億円(前期比+2億円)**となった。

売上数量、経常利益推移



収益力強化に向けた取り組み

1. 営業基盤・営業体制の強化
 高潔度技術を活かした営業戦略の策定
 拡販、販売構成の高度化、販売価格の改善
2. 変動費の削減
 エネルギー原単位改善や競争力のある鉄源・電力の活用による操業コスト・調達コストの削減
 (再エネ由来の競争力のある電力の使用を開始
 太陽光発電電力：2024年9月より使用開始
 風力発電電力：2025年5月頃より使用開始見込み)
3. 固定費の抑制
 増資に伴う借入金の返済等による、金利コストの削減

- ・ 生産、販売、技術、人材、財務面等を一層強化することにより、**中長期的な経済成長が見込まれるインドにおけるプレゼンスをより確固たるものとし、当社グループのグローバル展開の強化と更なる成長を図る。**

2. トピックス

トピックス

1. パートナーシップ構築大賞「経済産業大臣賞」を受賞 (2025年3月13日)

- ・3月13日に開催された「第3回パートナーシップ構築シンポジウム」(主催：経済産業省、後援：日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会)において、当社は「パートナーシップ構築宣言」※を行った企業の中から優良企業として選定され、栄えある経済産業大臣賞を受賞。
- ・今回の受賞は、サプライチェーンにおけるGHG排出量の削減に向けたパートナー企業でのGHG排出量実績値算出支援における、当社のパートナー企業に寄り添ったきめ細かで丁寧な対応などが高く評価されたもの。
- ・シンポジウムでは、基調講演や優良企業表彰のほか、受賞企業各社による「優良な取組事例のプレゼンテーション」が行われ、宮本代表取締役社長が当社の取組みを発表。

※事業者が、サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、(1)サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携、(2)下請企業との望ましい取引慣行の遵守を宣言するもの。2025年3月14日時点で、61,000社を超える企業が宣言済。



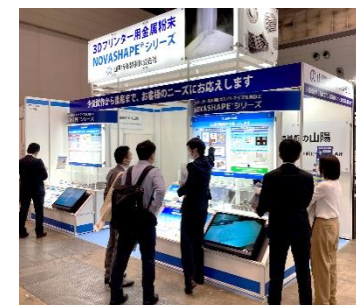
受賞企業各社による「優良な取組事例のプレゼンテーション」の中で、宮本代表取締役社長が当社の取組みについて発表。

本件に関する経済産業省公表資料

<https://www.meti.go.jp/press/2024/03/20250314001/20250314001.html>

2. 「INTERMOLD2025」への出展 (2025年4月16～18日)

- ・当展示会は国内最大規模の金型の展示会であり、当社単独での出展は初。
- ・当社ブースには約200名が来場。
- ・真空溶解と不活性ガスアトマイズの組み合わせによる、低酸素で高純度な流動性に優れたAM※用金属粉末「NOVASHAPE®」シリーズをPR。 ※Additive Manufacturing。3D造形。



トピックス

3. 日本製鉄の完全子会社化によるシナジー効果追求 (2025年5月9日、日本製鉄公表)

- ・ 日本製鉄関西製鉄所大阪地区の一部製品の山陽特殊製鋼へ生産集約検討開始
- ・ 日本製鉄グループ一貫での企業価値向上を図る

日本製鉄グループの主な特殊鋼棒線拠点



特殊鋼棒線の一体化・最適化

営業・技術面での連携強化
グローバル戦略の更なる深化・拡大
スクラップ調達連携などの原料施策

最適生産体制の追求

両社の類似する設備で生産している
製鋼製品・自由鍛造製品の
日本製鉄関西製鉄所大阪地区から
当社への生産集約について
本格的な検討を開始



検討対象設備：電炉～インゴット铸造設備、自由鍛造設備、特殊溶解設備

集約品種：製鋼製品（インゴット＜鋼塊＞）

自由鍛造製品（プラスチック成型用金型、圧延ロール等）

生産集約完了：2028年度中目途

3. 2050年カーボンニュートラル(CN) 実現に向けた取り組み

当社グループのロードマップ(Scope1+2、Scope3)

国内鉄鋼メーカーとして初※ SBT認定取得

※中小企業向けSBT認定取得企業を除く

- ・ 2030年度までのGHG排出量削減目標について、産業革命前からの気温上昇を1.5℃に抑えるための科学的根拠に基づいたものであると評価され、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets initiative(SBTi)」より、

2025年1月21日に国内

鉄鋼メーカーとして

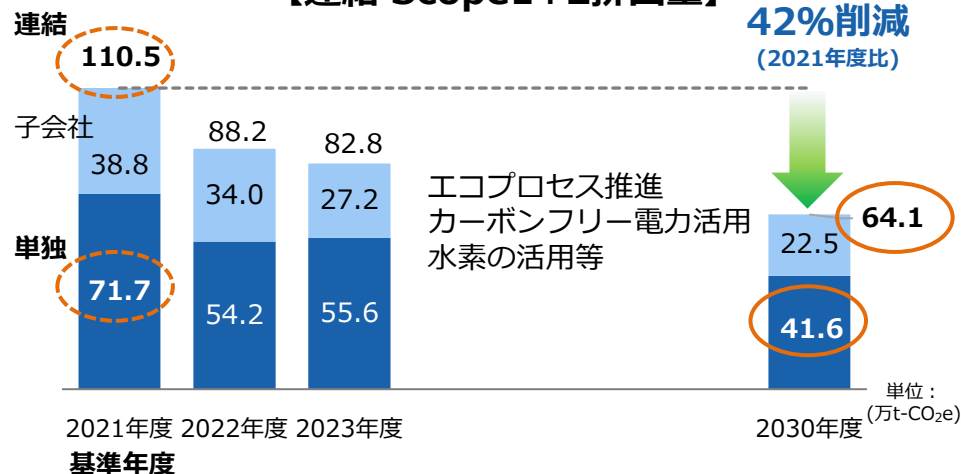
初めてSBT認定※。



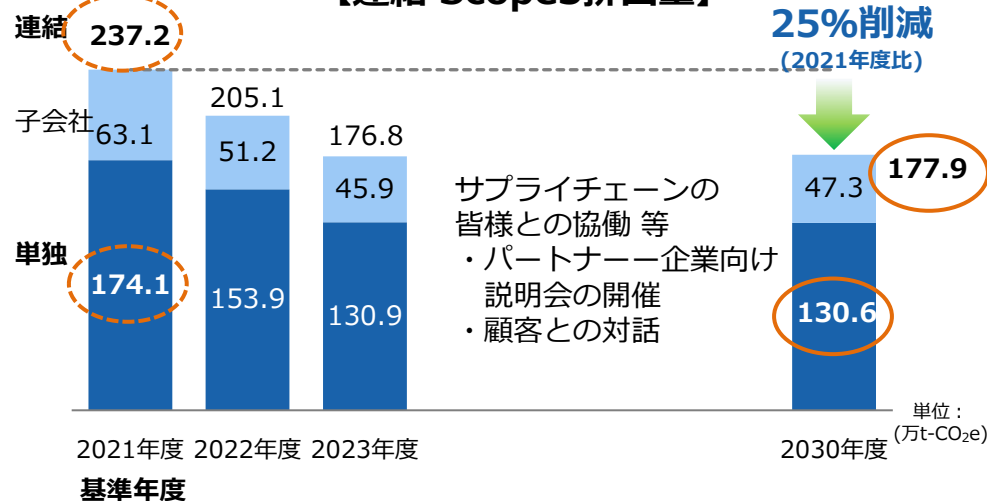
Scope3削減目標策定 鉄鋼業界において世界に先駆けた取り組み

- ・ 2024年9月、連結でのScope3排出量削減目標を策定。
- ・ SBTのScope3認定基準に整合する「2030年度までに2021年度比でGHG排出量を25%削減」を目指す。

【連結 Scope1+2排出量】

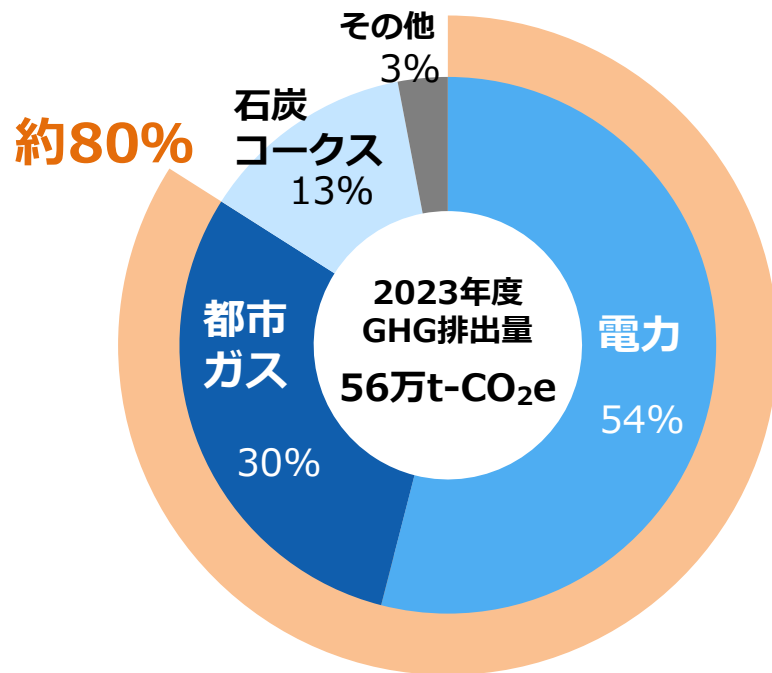


【連結 Scope3排出量】



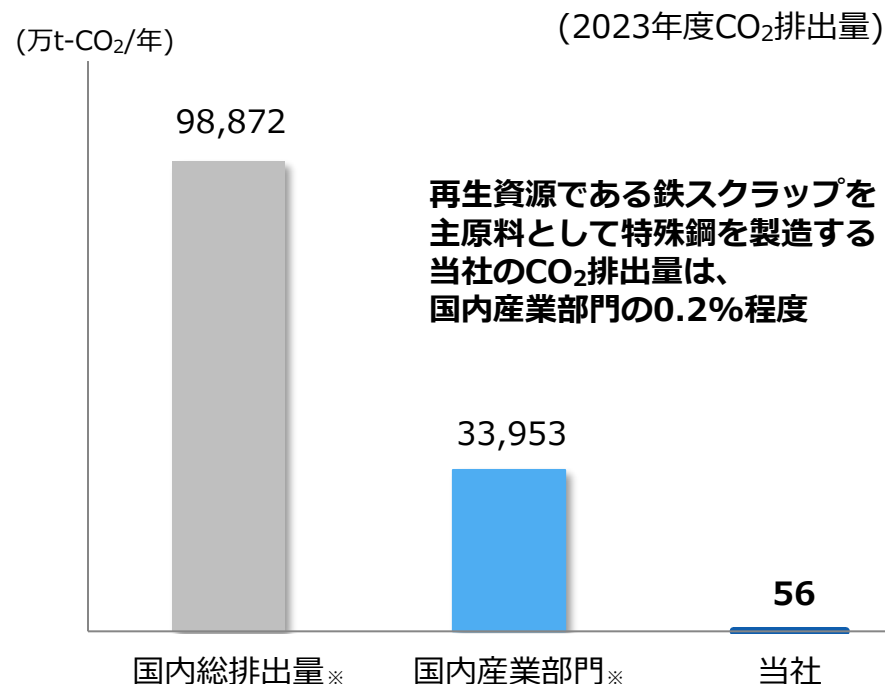
当社の状況とカーボンニュートラルに向けた考え方

当社のGHG排出量内訳 (当社単独Scope1+2)



当社のGHG排出量の80%以上が電力と都市ガス

CO₂排出量における当社の位置づけ



※国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス
日本の温室効果ガス排出量データ (2023年度実績報告値)

GXリーグへの参画

当社は、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、企業の成長、生活者の幸福そして地球環境への貢献が同時に実現される経済社会システム全体の変革を目指す「GXリーグ基本構想」に賛同、2023年5月にGXリーグに参画した。

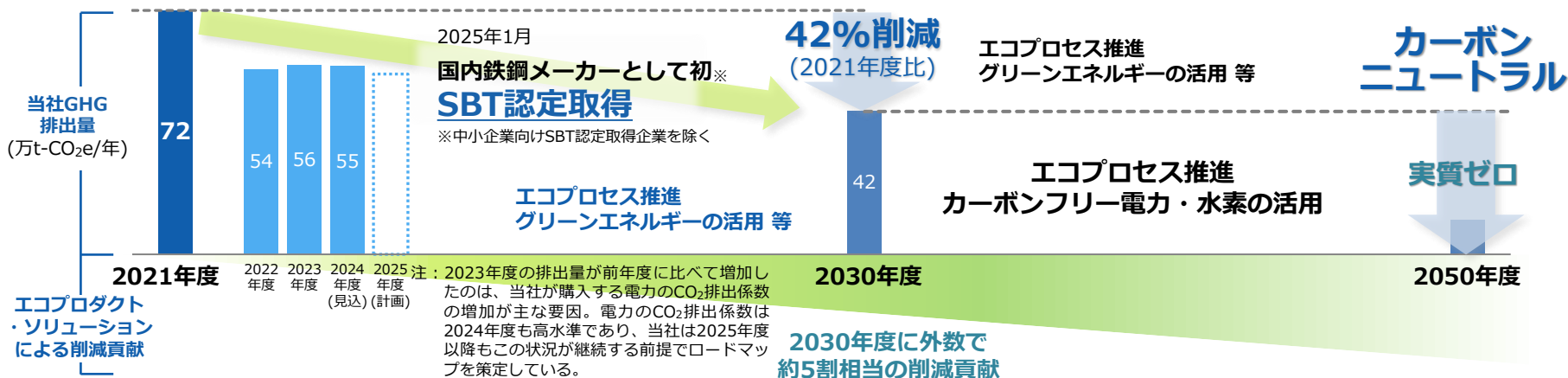
自主的な排出量取引、市場創造のためのルール形成、ビジネス機会の創発、GXスタジオでの交流といったGXリーグにおける活動に積極的に参加していく。



2050年に向けた当社のロードマップ

製造工程における省エネとグリーンエネルギーの活用、およびエコプロダクト・エコソリューションによる貢献で、自社の製造工程だけでなく、社会のあらゆる段階でのGHG(温室効果ガス)排出削減を目指す

【当社単独Scope1 + 2排出量】



当社GHG(温室効果ガス)排出量削減



リジエバーナーを採用した省エネ加熱炉

エコプロセス

製造現場を中心とした全社の省エネ対策やエネルギー効率を高める製造技術開発を推進
※2023年度からインテナルカーボンプライシングを導入



グリーンエネルギー活用

カーボンフリー電力や脱化石燃料、自然エネルギーの活用
※2022年度から再エネ由来電力の一部活用開始
2024年度から水力・太陽光発電活用開始

エコプロダクト・エコソリューションによる削減貢献



長寿命風力発電用軸受鋼の開発

エコプロダクト

製品を使用する段階でGHG(温室効果ガス)排出削減に貢献する商品や、需要家のエコプロセスに貢献する商品の開発・供給を推進



海外グループ会社への技術展開

エコソリューション

エネルギー原単位削減に寄与する省エネや生産性向上技術をOVAKO、SSMI等の海外グループ会社に展開

エコプロダクトによるGHG排出量削減への貢献

お客様での部品製造や最終製品としての使用段階におけるGHG(温室効果ガス)排出削減に貢献するエコプロダクトの開発に注力

- ・当社材料技術を活用したエコプロダクトによる社会のあらゆる段階でのGHG(温室効果ガス)排出削減貢献を目指す。
- ・今後も長寿命化等、材料特性をさらに強化したエコプロダクトの実装と一層の普及を図ることで、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献していく。

長寿命軸受鋼



耐久性・信頼性向上による
部品の小型・軽量化

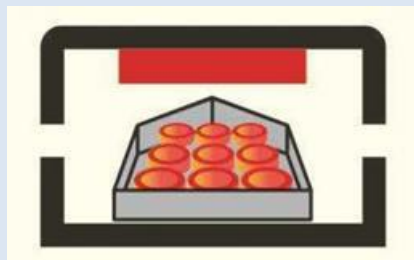


長寿命化による
故障率低減・メンテフリー化
(CO₂削減効果は推計で1.3万トン/年※)

工程省略鋼



(高強度肌焼鋼：ECOMAX®シリーズ)
熱処理の省略・簡略化



(高硬度高靱性鋼：TOUGHFIT®)
新成分+新熱処理技術による
部品硬化熱処理負荷の軽減

耐熱ステンレス鋼管



高強度化による
熱回収効率向上



高耐食性化による
ごみ発電高効率化

※第18回 日本LCA学会 研究発表会(2023年3月10日)にて発表

欧州子会社OVAKOの取り組み

OVAKOロードマップ

2020年4月 ● 世界初 水素を燃料に用いた鋼片加熱に成功

2022年1月 ● **カーボンニュートラルに移行**

自社の製造プロセスにおける
GHG(温室効果ガス)排出を実質ゼロに

- ・カーボンオフセットプログラムを活用し、
残るGHG(温室効果ガス)排出量を相殺
- ・気候サーチャージを適用

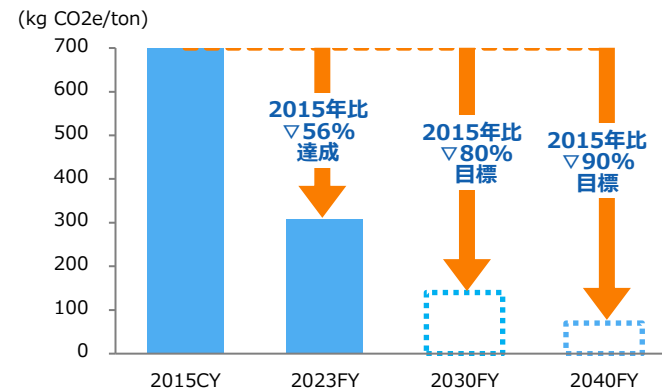
2023年9月 ● **カーボンフリー水素プラント稼働開始**

欧州最大級の設備
Hofors工場加熱工程で排出する
GHG(温室効果ガス)を約50%(約2万t/年)削減可能

顧客との協同取り組み事例

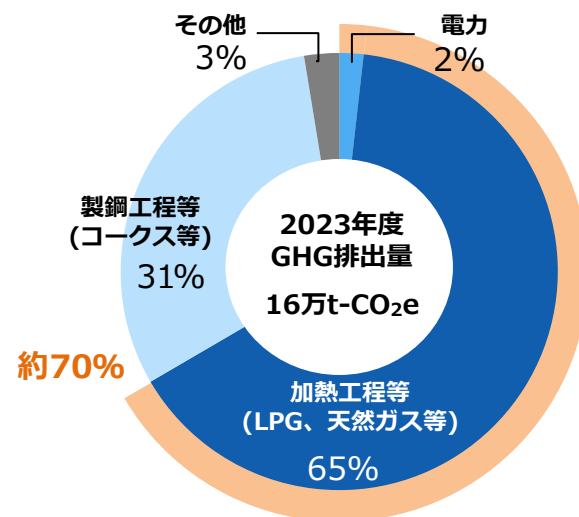
- ・SKFと協同し、GHG(温室効果ガス)排出量90%減の軸受生産を達成
- ・Volvoの温室効果ガス ネットゼロ自動車製造プロジェクトへ参画
- ・FNsteelとパートナーシップ契約を締結

OVAKOのGHG排出量(Scope1+2)



OVAKO SUSTAINABILITY REPORT 2023をもとに作成

OVAKOのGHG排出量内訳



OVAKOのカーボンフリー水素プラントについて

- ・スウェーデン政府の財政支援と現地有力企業(Volvo Group等)の参加を受けて、スウェーデンHofors工場内に建設。
- ・投資総額180百万SEK(スウェーデンクローネ) ※うち約4割をスウェーデン政府が財政支援
- ・脱化石電力を使用した水の電気分解により、毎時約4千m³(約3千t/年)のカーボンフリー水素を生成可能。
- ・加熱炉等の燃料をカーボンフリー水素に転換することで、Hofors工場の加熱工程で発生するGHG(温室効果ガス)の約50%(約2万t/年)を削減可能。
- ・このたび完成した水素プラントの稼働で得られる知見等を踏まえ、2030年をひとつの目途として各製鉄所での水素プラント導入を検討するなど、気候変動問題へのさらなる取り組みを推進していく。



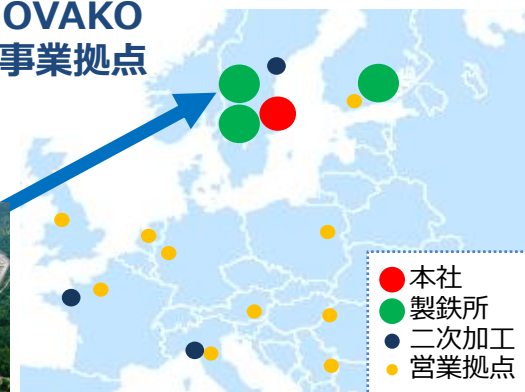
OVAKO水素プラントの電解装置

豊かな自然に恵まれたスウェーデンは、脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高く、産業用電力料金は日本の1/2~1/3程度

OVAKO
Hofors工場



**OVAKO
事業拠点**



カーボンフリー水素プラント開所式

2023年9月5日にスウェーデンのクリステション首相をはじめとする多数の来賓列席のもと、開所式を挙行政。

(中央)スウェーデン首相、
(左)当社代表取締役社長、
(右)OVAKO CEO



インド子会社SSMIの取り組み

再エネ由来電力の活用や燃料転換、省エネを推進

再エネ由来電力の活用や、従来の燃料油からクリーンで効率的な天然ガスへの燃料転換、エネルギー効率の高い生産プロセスや設備の導入等を推進。

SSMIロードマップ

2018年 SBT認定取得

2024年 9月 太陽光発電電力 使用開始

自社の製造工程で排出する
GHG(温室効果ガス)を約25%削減

2025年 5月 風力発電電力 使用開始見込み

2030年 GHG(温室効果ガス)排出原単位40%削減(2016年度比)

2050年 カーボンニュートラル実現



2023年8月Tata Powerグループと太陽光発電による再エネ由来電力の購入契約を締結



太陽光発電

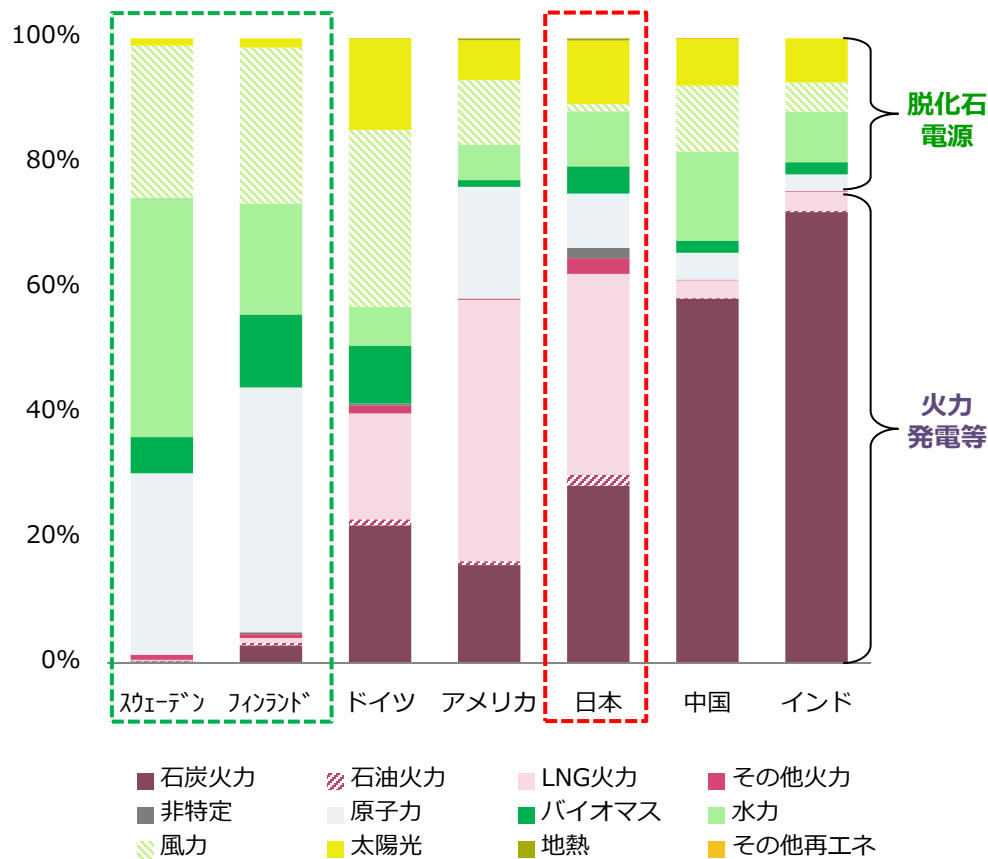


風力発電

各国の電源構成と産業用電力価格

電源構成(2024年)

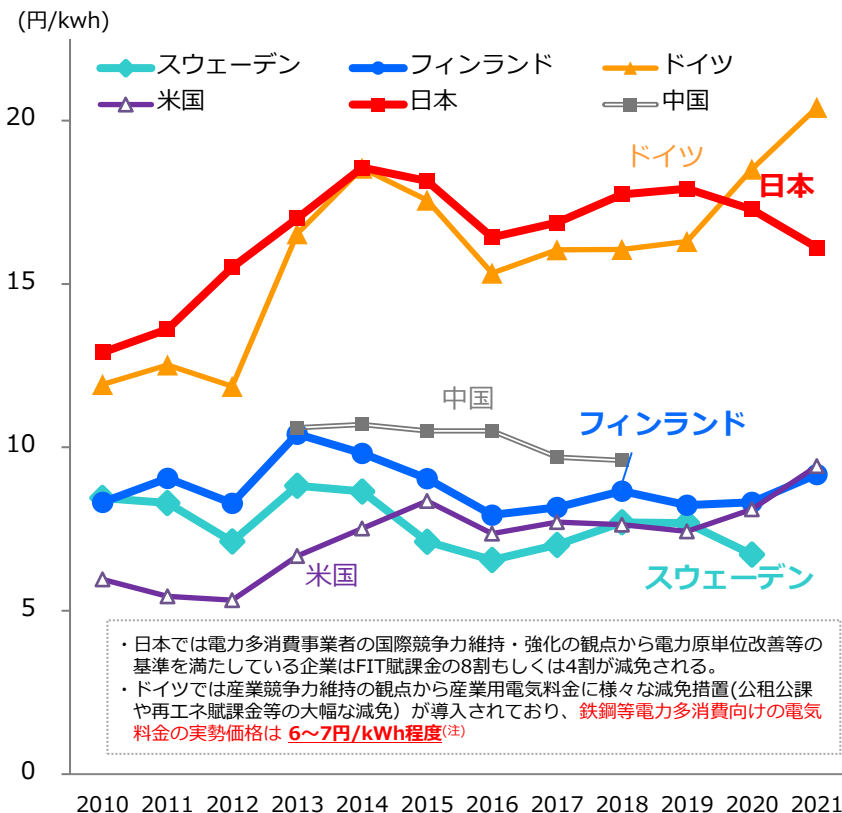
OVAKOの生産拠点が立地するスウェーデン、フィンランドは脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高い。



※ IEA(国際エネルギー機関)「Monthly Electricity Statistics」より当社作成

産業用電力価格の推移

スウェーデン、フィンランドの産業用電力価格は日本の1/2～1/3程度。



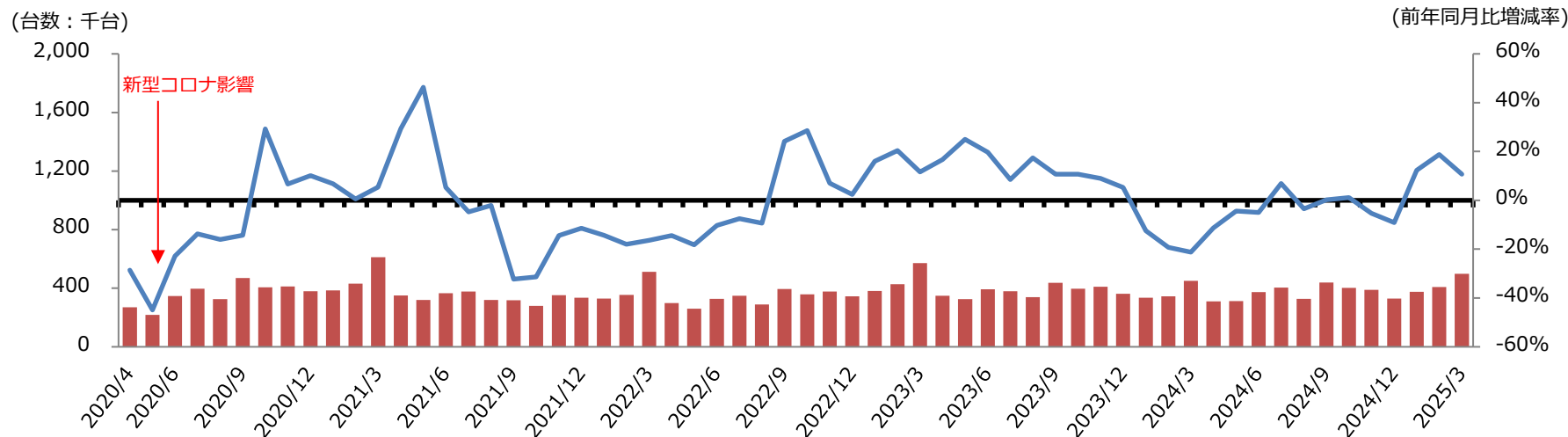
※ スウェーデン・フィンランド・ドイツ・米国・日本については英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省「Industrial electricity prices in the IEA」より、中国については、(公財)自然エネルギー財団「中国の電力システム改革」より当社作成

(注) 国際環境経済研究所「海外のカーボンプライシングの実態」

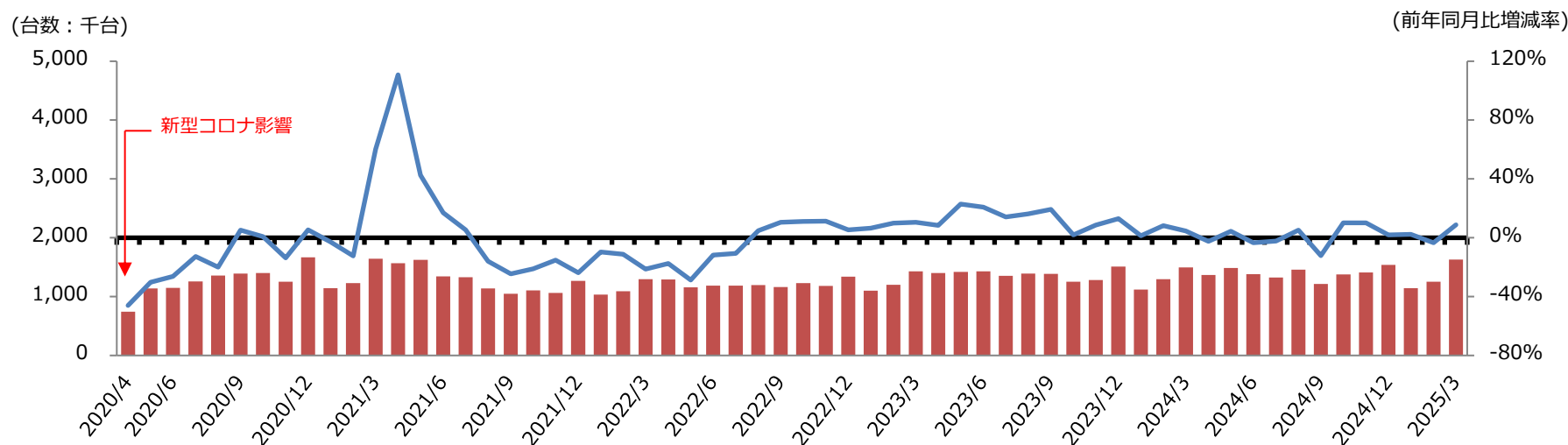
4. 參考資料

自動車市場の動向

日本自動車販売台数 出典：マークラインズ



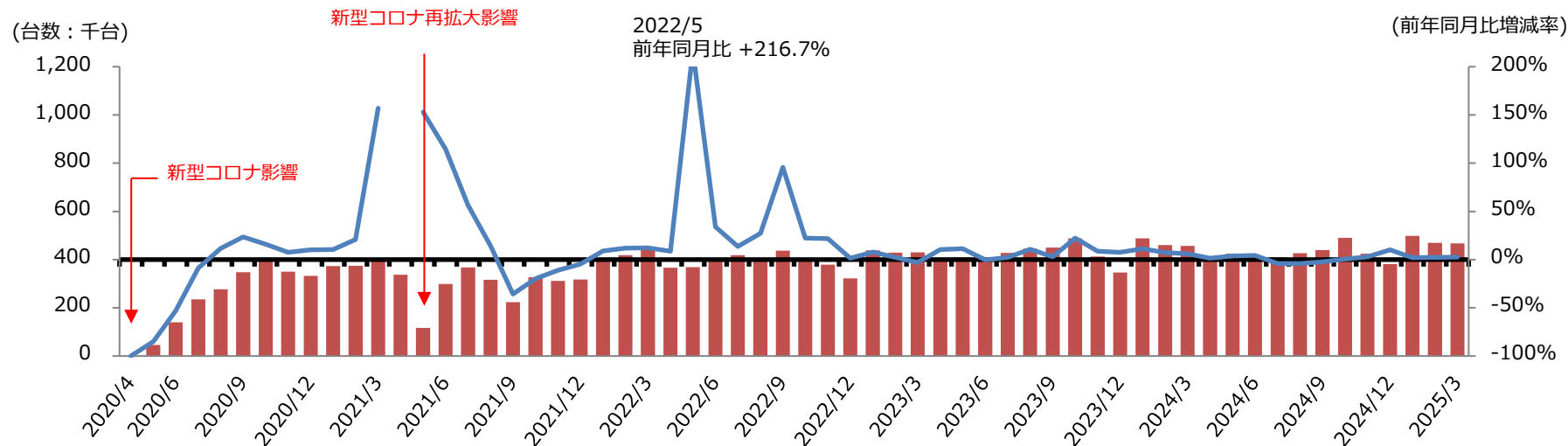
米国自動車販売台数 出典：マークラインズ



自動車市場の動向

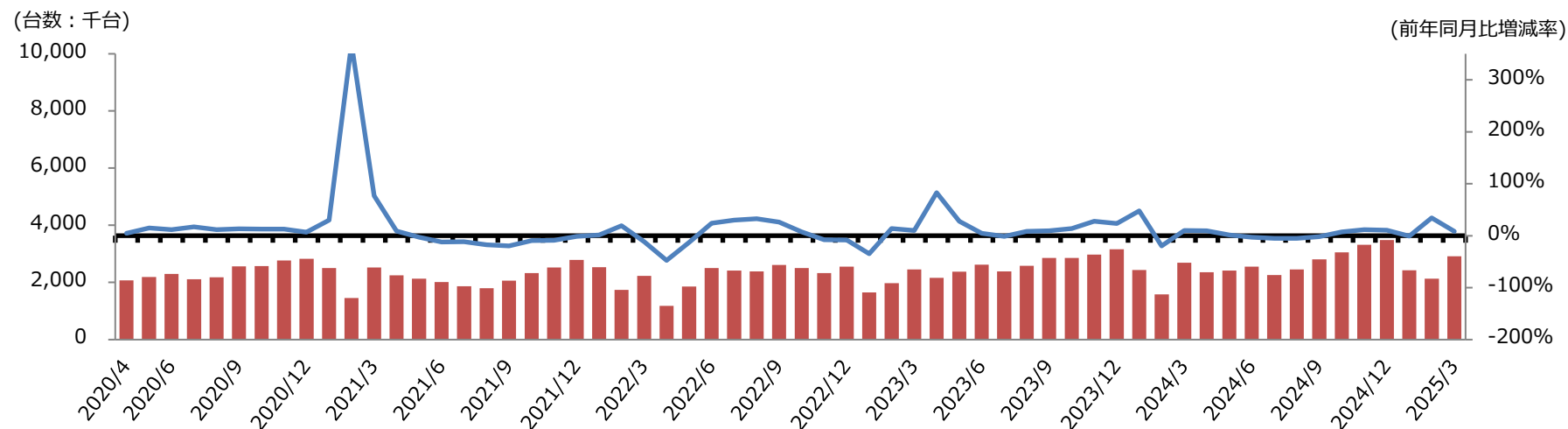
インド自動車販売台数

出典：マークライNZ



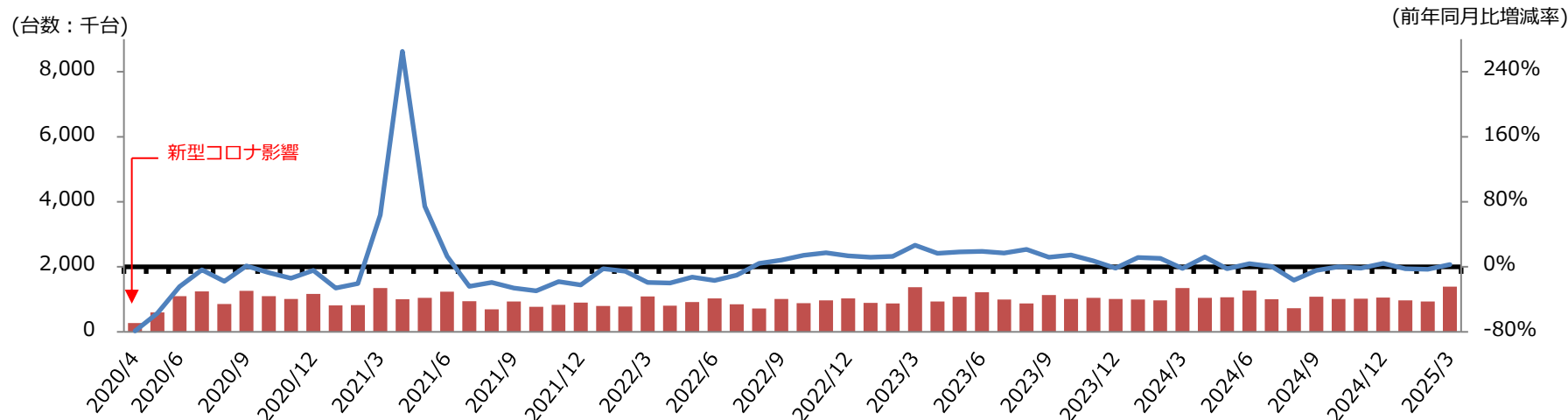
中国自動車販売台数(工場出荷台数ベース)

出典：マークライNZ

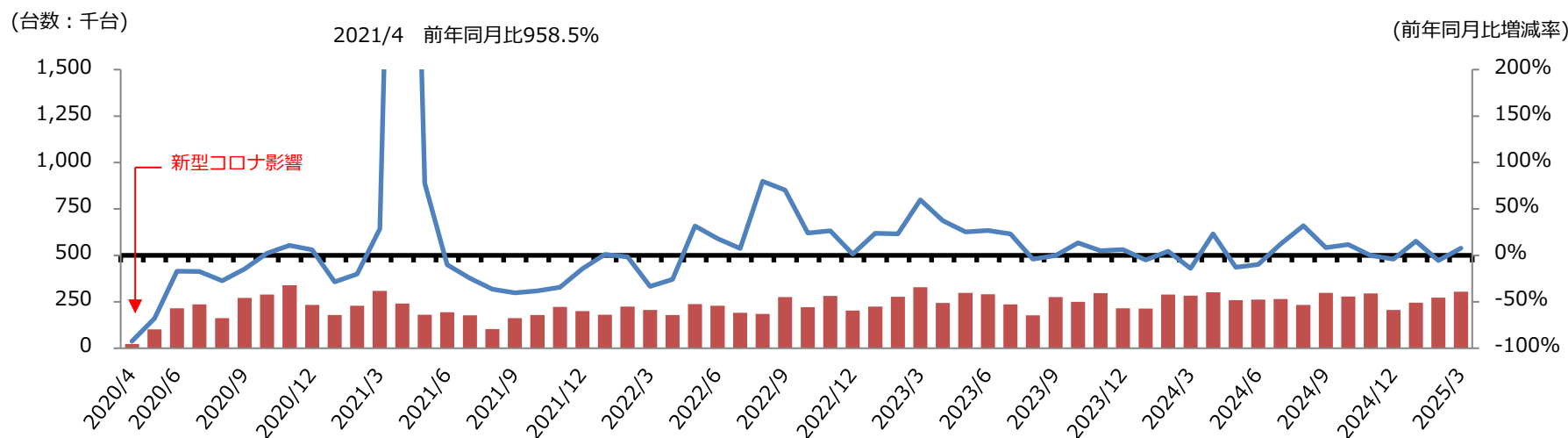


自動車市場の動向

欧州自動車販売台数 出典：ACEA

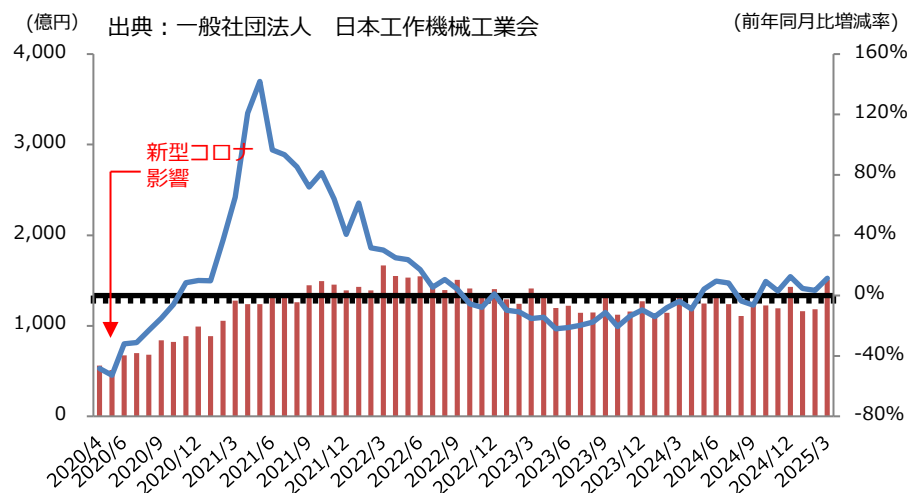


ドイツ自動車輸出台数 出典：VDA

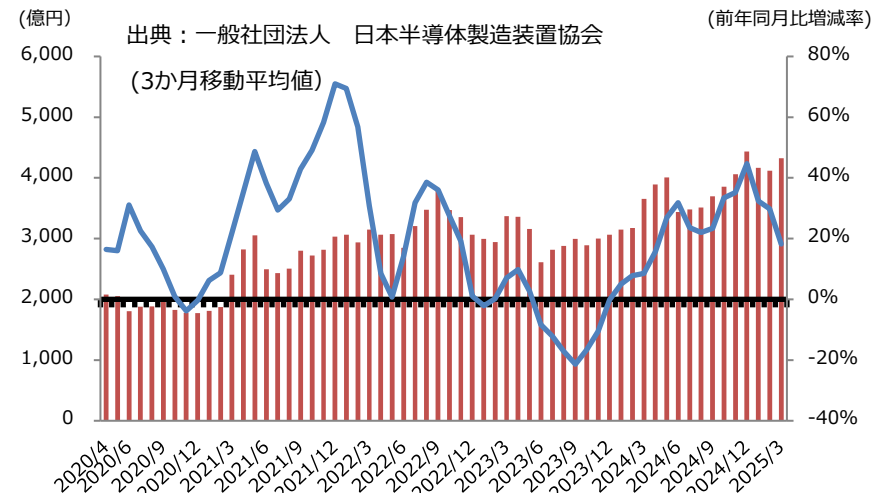


産業機械・建設機械市場の動向

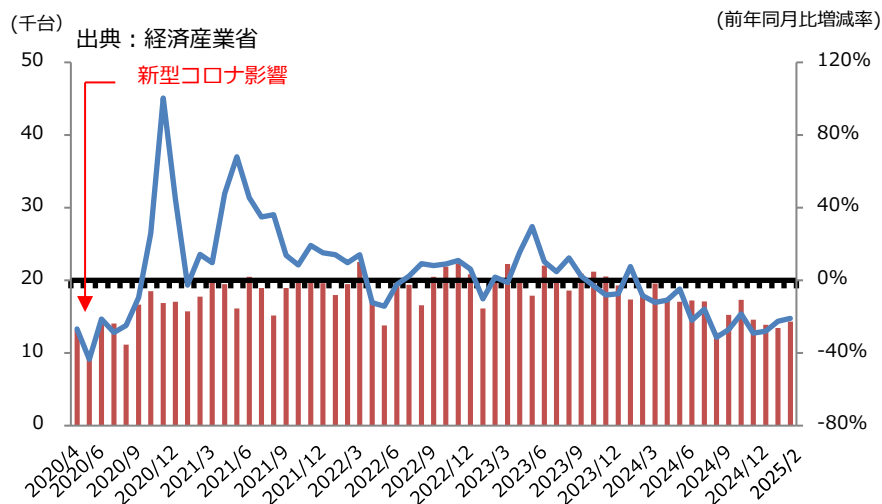
工作機械受注金額(日本)



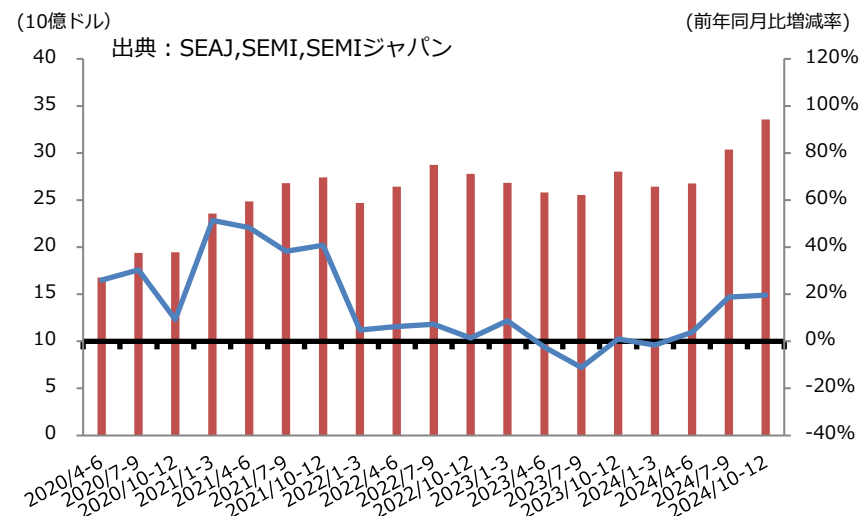
半導体製造装置販売金額(日本)



ショベル系建設機械国内生産台数

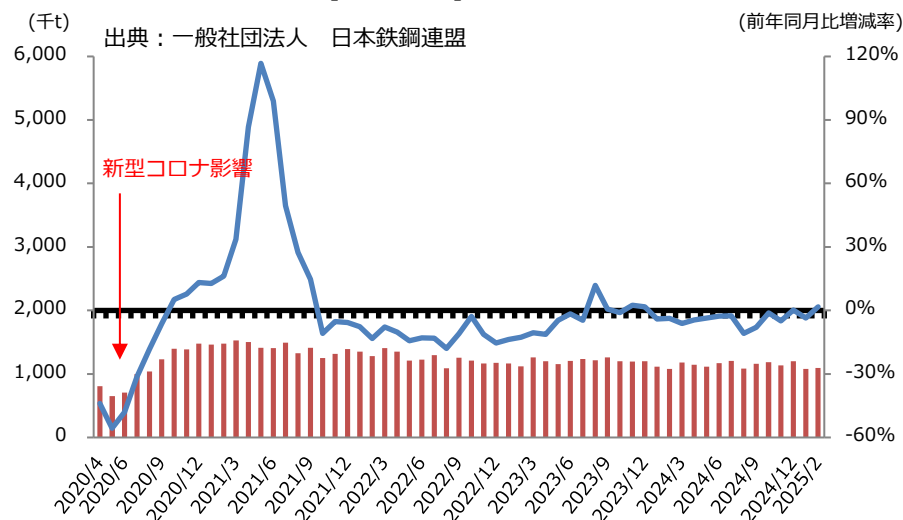


半導体製造装置販売金額(世界)

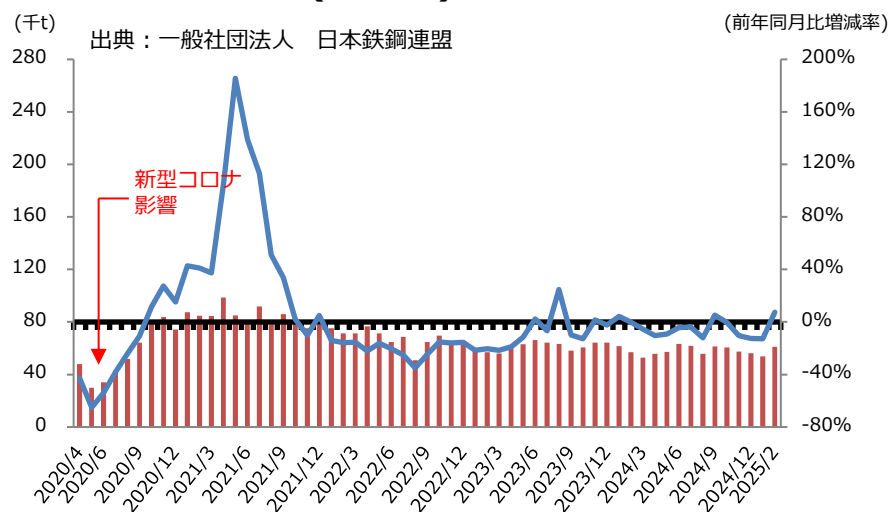


特殊鋼需要の動向

日本特殊鋼受注数量(特殊鋼)



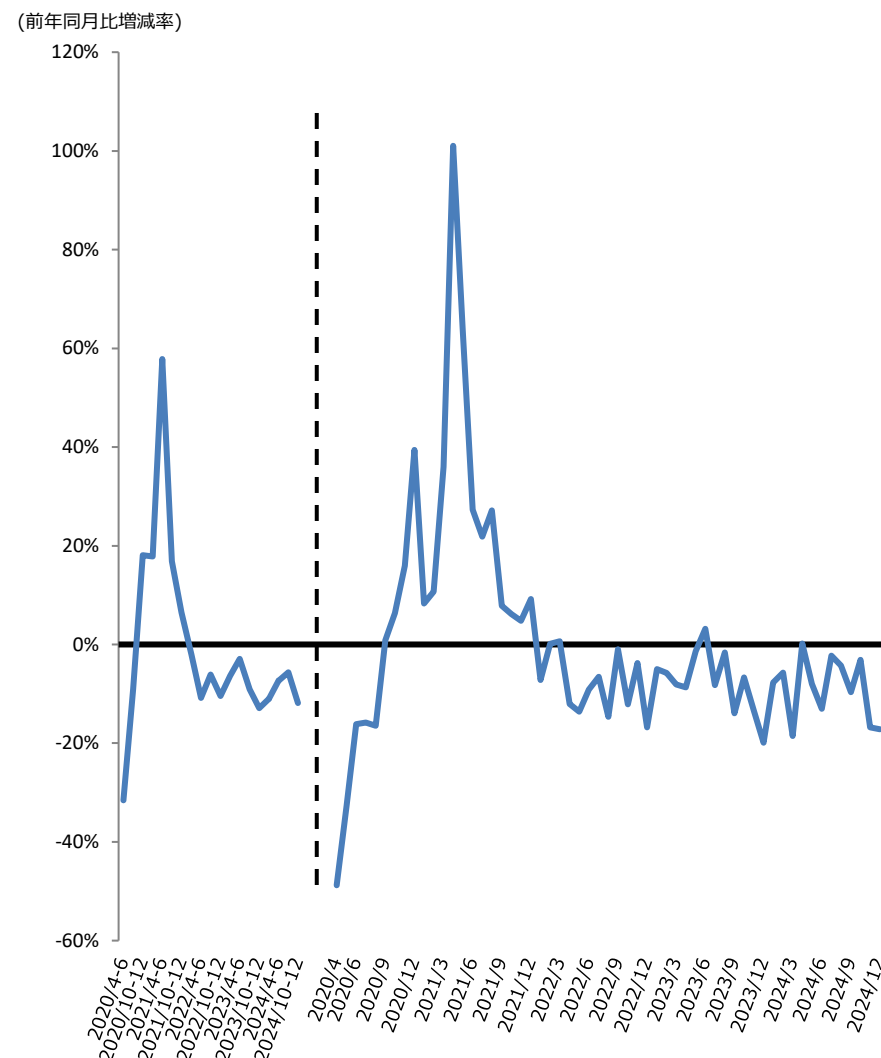
日本特殊鋼受注数量(軸受鋼)



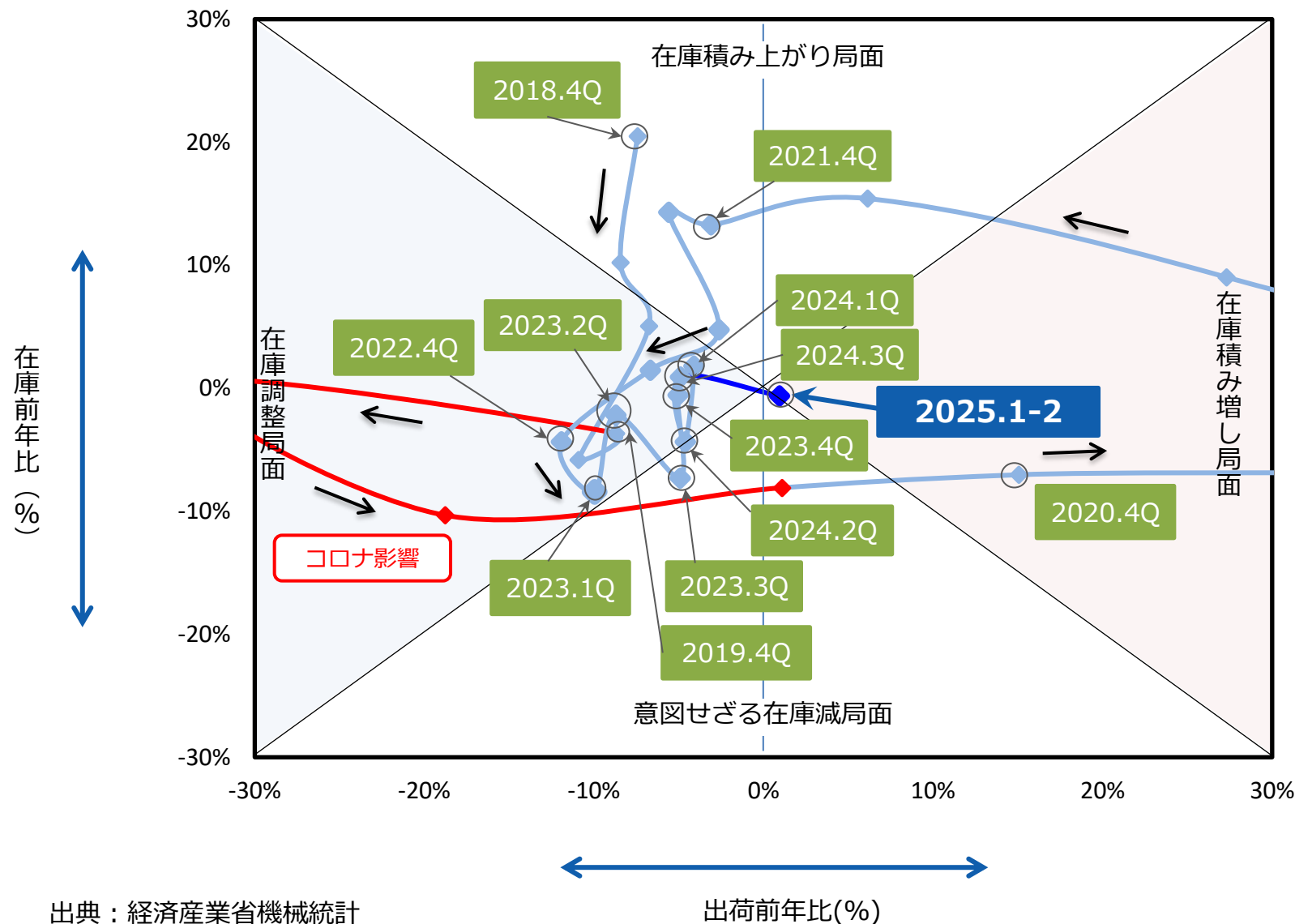
欧州デリバリー数量

棒鋼&平鋼/構造用合金鋼

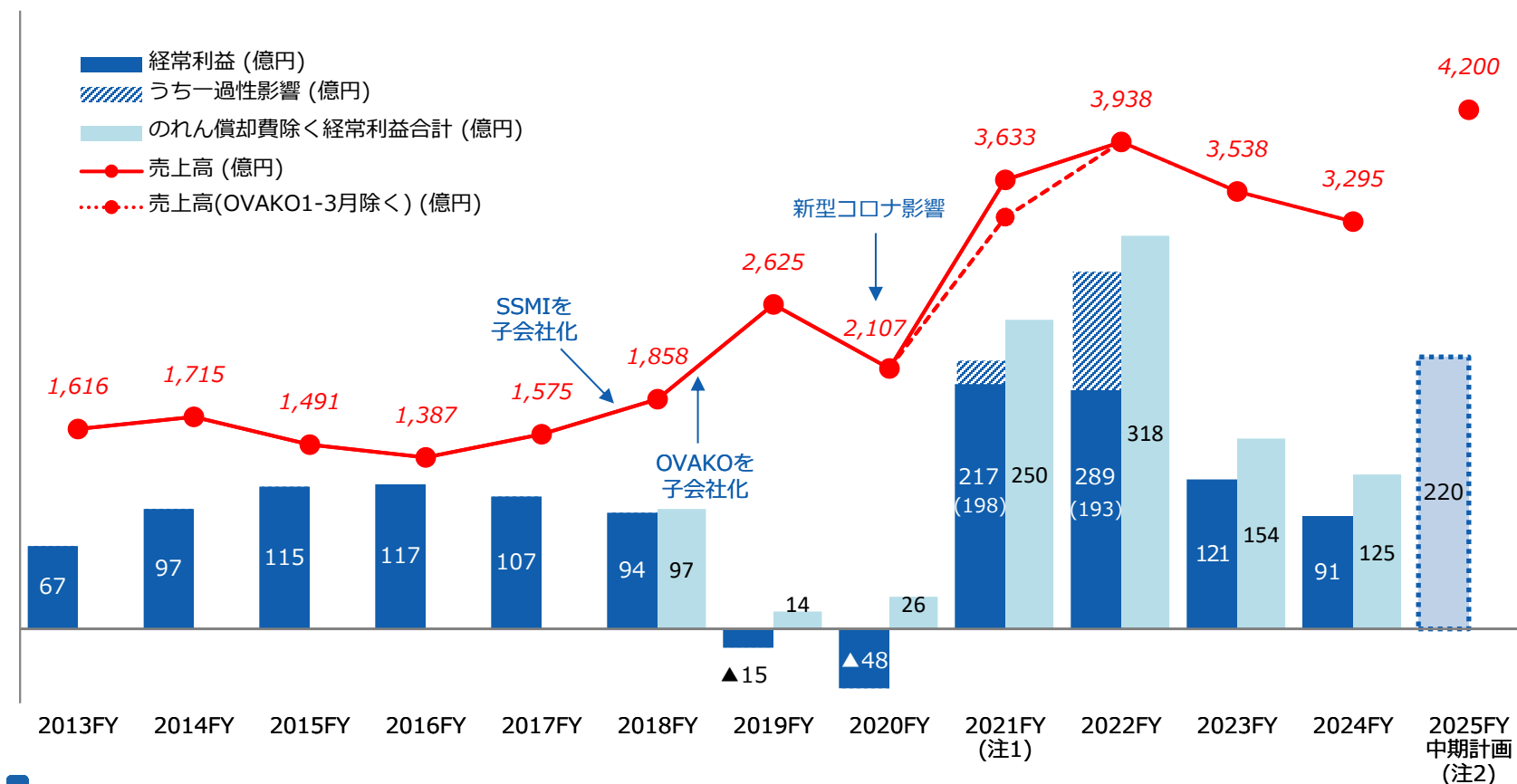
出典：欧州鉄鋼連盟



軸受在庫循環図



業績推移(年度)



ROE

4.1%	6.1%	6.6%	6.6%	5.6%	4.8%	-2.0%	-3.9%	8.1%	10.1%	4.1%	1.9%	7%
------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	-------	------	------	----

ROE(のれん償却費除く)

4.1%	6.1%	6.6%	6.6%	5.6%	4.8%	0.3%	-2.4%	9.9%	11.5%	5.6%	3.4%	8%
------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	----

(注1)2021FYのOVAKOおよびのれん償却費は2021年1月～2022年3月の15カ月の数値

(注2)2023年7月28日公表値

(注3)SSMIは2018FY2Qから、OVAKOは2019FY1Qから損益を連結

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。

SANYO SPECIAL STEEL - the Confident Choice



<https://www.sanyo-steel.co.jp/>